

研究協力のお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

難治性がん疼痛に対するケタミン使用症例の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2022年4月から2023年6月までに昭和大学横浜市北部病院緩和ケア病棟でケタミン持続投与を行った患者さん

2. 研究目的・方法

がんの痛みには医療用麻薬を使用します。麻薬は大量に使用すると、次第に痛みを軽く効果が少なくなるだけでなく、逆に痛みが強くなる場合があります。ケタミンには、再び麻薬の痛みを強くする効果があります。麻薬を大量使用しても効果が無い難治性がん疼痛患者に、ケタミンを併用することにより痛みが軽くなります。昭和大学横浜市北部病院緩和ケア病棟でケタミンを使用した難治性がん疼痛患者さんの痛みを軽くする効果、副作用について調査を行います。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年12月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

ケタミン持続投与した患者の診療録から、年齢、性別、診断病名、現病歴(生存期間)、併存療法、疼痛の程度、副作用とする。

5. 外部への試料・情報の提供

本研究で取得した診療情報は研究責任者が個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等の個人を識別できる情報を削除し、研究用のIDを付与することで符号化します。符号化した診療情報は昭和大学横浜市北部病院の外部から切り離されたコンピューター内にそれぞれ保存され、昭和大学横浜市北部病院 緩和医療科(提供元)から昭和大学医学部内科学講座緩和医療科学部門へ研究者のみがアクセスできるオンラインストレージを通じて送付されます。

6．研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和大学横浜市北部病院 氏名 西木戸修

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 氏名：西木戸修

住所：横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7000 内線 7336